

さど

佐渡 市議会だより

- 発行：佐渡市議会
- 責任者：金光英晴
- ◆編集：議会報編集特別委員会
- 〒952-1393 新潟県佐渡市河原田本町394番地
- ☎(0259) 57-8133
- HP:<http://www.city.sado.niigata.jp/>



写真提供：佐渡トキ保護センター



佐渡國うまいもん合戦
(相川地区)

9月定例会

定例会の主な審議事項	2
一般質問	4
請願、陳情、意見書、 議決結果一覧	13
常任委員会行政視察報告	14
議会のうごき、 行政視察来市状況、 編集後記	16

2,952万6,000円を追加補正 (予算総額489億9,030万1,000円)

③ 「入湯税の引下げ及び免除を求める陳情」について

民間に譲渡した日帰り温泉施設の「入湯税の引下げ及び免除を求める陳情」について、社会福祉協議会からも意見聴取しました。



地域交流センター 新穂湯上温泉

④ ふるさとの森基金条例について



当事業は合併前の契約に基づく植林分収事業であるが、契約処理を期間満了直前まで先延ばしし、結果として基金の低減を招いてきました。

今後の当該契約の処理にあたって、適切に対応するよう意見をつけ認めました。

⑤ プレミアム商品券発行助成事業

商店街の活性化のため、緊急経済対策としてプレミアム商品券の発行を認めました。



さとトキめき商品券

市民厚生

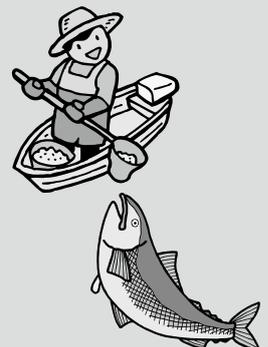
11月1日にオープンした佐渡総合病院を現地視察しました。屋上のヘリポートや集中治療室などを重点的に見学。医療機器の搬入などで大忙しの様子でした。



屋上ヘリポート

産業建設

養殖・水産加工実証モデル事業について設立が予定されている協議会の責任体制が不明確である上、補助金交付要綱も不整合であることから、これらの点が整理されるまで、事業の執行を凍結することの意見をつけました。



平成23年9月9日～27日開催 第5回 9月定例会

一般会計予算に歳入歳出それぞれ17億

◆9月定例会の主な審議事項

1 相川支所・相川消防署庁舎等建設事業 2,300万円

相川支所・相川消防署の老朽化が著しく移転が必要なことから、相川支所の西側の埋立地に相川支所及び相川消防署を併設した施設を建設するための設計業務及び地質調査委託料の予算計上を認めました。



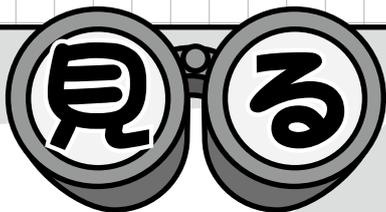
老朽化がすすむ相川支所



2 ハザードマップ作成事業 933万5,000円

東日本大震災を受け、津波に対応するハザードマップの作成費用についての予算計上を認めました。

行政の
今を



常任委員会

のうごき

総務|文教

平成24年度リニューアルオープンする陸上競技場の周辺地（野球場外野周辺等）の駐車場整備と老朽化したトイレの改築費用についての予算計上を認めました。



リニューアルオープンする陸上競技場

9月定例会では17人の議員が登壇し、市の考えをいただきました。一般質問での答弁要旨を各議員からの寄稿で掲載しています。

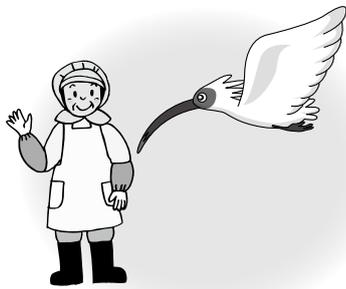


一般質問



ココが聞きたい!!

- ◆金子克己 議員 4
- ◆トキとの共生は市民生活が犠牲でよいのか 5
- ◆松本正勝 議員 5
- ◆行革の赤点評価に対する市長の総括は 5
- ◆根岸勇雄 議員 5
- ◆建築設計業務委託での最低制限価格の導入 6
- ◆廣瀬 擁 議員 6
- ◆大学発 島の活性化策 6
- ◆中川直美 議員 6
- ◆市民の安全を守り、期待に応える市政へ 7
- ◆浜田正敏 議員 7
- ◆トキの適に山知る地元の人を依頼するシステムを考えた 7
- ◆金田淳一 議員 7
- ◆高野市政「エコアイランド」構想は成功したのか 8
- ◆祝 優雄 議員 8
- ◆産産を乳乳らいて、消費税を産産を産産を産産 8
- ◆加賀博昭 議員 8
- ◆両津病院2年連続赤字決算、総務省高く評価 9
- ◆田中文夫 議員 9
- ◆決算審査を始める前に 9
- ◆中村良夫 議員 9
- ◆中学3年生までの医療費の無料化を実現しよう 10
- ◆小田純一 議員 10
- ◆再生可能エネルギーの導入促進を 10
- ◆大桃一浩 議員 10
- ◆深刻な経済・雇用状況の改善をはかれ 11
- ◆村川四郎 議員 11
- ◆中心街、商店街の活性化について 11
- ◆本間千佳子 議員 11
- ◆歴史・文化・観光の島誘客環境は整っているか 12
- ◆小杉邦男 議員 12
- ◆原発を廃止し自然再生エネルギーへの転換を急げ 12
- ◆近藤和義 議員 12
- ◆免税軽油制度の継続と工事の最低制限価格の引上げを



一般質問

トキとの共生は市民生活が犠牲でよいのか

金子 克己 議員



【質問】 トキとの共生を掲げ、自然豊かな佐渡をアピールし、観光、産業振興に期待した放鳥事業であるが、現実とは時として、人の生活に犠牲を求め、トキの名を出せば何でもおると言わないばかりである。トキも人の生活エリアに侵入すればある程度リスクがあるという訓練時の反復が必要なのではないか。市民生活目線に立った放鳥事業であってほしい。

【質問】 トキ飛来営巣で真野長石地区防風林への松くい虫対策防除空散が中止され、対策として樹幹注入が示されているが、今後の取り組みについて聞きたい。

【市長】 防風林を守る真野長石地区の方の生活も大事で重い問題提起であり、一方ではトキを見守る方々の意見もある。共生ルールの中で生活を守ることが第一である。

【質問】 トキ放鳥に関連し農作物収穫期被害対策のクラス等の有害鳥獣駆除はなぜ行われなくなったのか。

【農林水産課長】 放鳥翌年の平成21年度から、被害農家自らの自己防衛策で協力していただいているが、今後精査し、効果がなければ検討したい。

【農林水産課長】 集落の合意を得られれば、12月頃から防風林面積5.4ヘクタールの約5600本の松について3年間約5000万円の予算にて樹幹注入を予定している。そして一日でも早く安